

被害と復興過程の記録・伝承

南三陸町 震災復興計画策定会議
参考資料

伝承の目的

- 1) 鎮魂の場として(メモリアル)
- 2) 語り合う・発信する(地域振興・観光・文化)
- 3) 語り継ぐ(防災教育・地域防災力の向上)



伝承の目的・対象・内容



目的	誰に向けてか	場所	収集資料・表現手法
<p>1) メモリアル (鎮魂・慰霊)</p>	<p>災害で被害を受けた人</p>	<p>被害が大きかった場所・建物など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被害が大きかった場所・もの 犠牲者名簿・被災者の記録 <p>例) 奥尻島津波館・モニュメント 神戸市東遊園地内施設</p>
<p>2) 語り合う・発信 (復興の拠点・地域振興・観光・文化継承)</p>	<p>被災地域内外の人々</p>	<p>公民館・集会所 道の駅・観光拠点 郷土資料館 神社・仏閣</p>	<ul style="list-style-type: none"> 復興過程の取組みそのものを記録・可能な範囲で展示公開 被災施設（被災家屋等）の保存・公開 <p>例) 南島原市雲仙普賢岳噴火家屋保存館・道の駅「みずなし本陣」</p>
<p>3) 語り継ぐ (防災教育 地域防災力向上)</p>	<p>受け手：災害を経験していない人 発信側：被害を受けた人</p>	<p>防災教育センター（博物館）など 被害地域のまちなか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害・復興資料の展示 語り部・研究員等のレクチャー 防災啓発の展示・防災人材の育成 サイン：津波到達点・浸水域 <p>例) あわじ市北淡震災記念公園 神戸市人と防災未来センター</p>

1) メモリアル (奥尻島津波館)



外観



復興過程の再現模型など

もの・文献等も含め、
災害資料の収集は殆ど行われて
いない。



慰霊のためのモニュメント

1) メモリアル (神戸市東遊園地公園)



神戸ルミナリエ

1・17の集い



1・17希望の灯り

阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモニュメント
神戸市内外の震災犠牲者の名前が掲示

2) 語り合う・発信 (防災・復興をテーマとした観光)



雲仙普賢岳噴火災害：道の駅「みずなし本陣」被災家屋保存

3) 語り継ぐ(人と防災未来センター)



外観



展示：被害や避難生活などの写真・もの



体感シアター



原寸ジオラマ

3) 語り継ぐ(人と防災未来センター)



資料室



減災
ワークショップ



ボランティア・語り部

2002年4月開館

- ・入館者(平成22年)502,865人
- ・運営ボランティア:163名(語り部44名、語学48名、手話2名、展示解説69名)
- ・震災関係一次資料数:177,027点

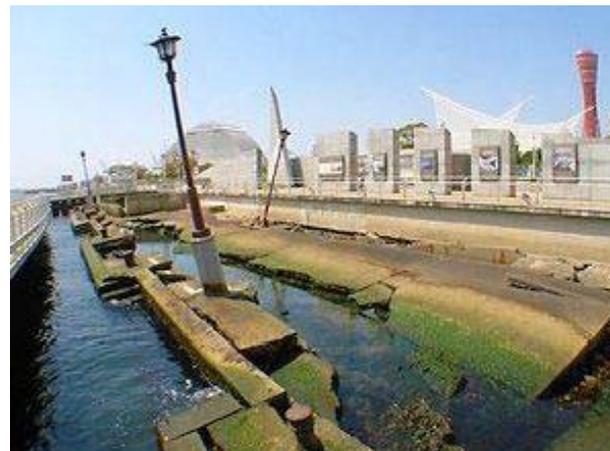
<資料収集>

- ・兵庫県による資料収集 ・1995年12月～ 21世紀ひょうご創造協会に委託
- ・資料収集員3名による資料収集の開始 ・2000年～2002年 兵庫県による大規模震災資料所在調査(400名の資料収集員)

3) 語り継ぐ(サイン 断層保存等)



奥尻島(堤防)



神戸メモリアルパーク



北淡震災記念公園(断層記念館 断層上の家を保存・屋内も公開)

津波災害の伝承・記録・発信

津波被害の資料収集や展示は世界的にも少ない
→建物の建設だけでなく、展示資料などの収集が必要



奥尻島津波館



稲村の火館
(津波防災教育センターも併設)

インド洋津波
インドネシア・アチェ
2011年開館予定
(災害遺物の収集未実施)

